

## 「第7回 ふくしま再生可能エネルギー産業フェア2018」への出展

1. 日時 : 平成30年11月7日(水)・8日(木) 10:00-17:00
2. 主催 : 福島県・公益財団法人福島県産業振興センター
3. 場所 : ビッグパレットふくしま(福島県郡山市南二丁目52番地)
4. 開催趣旨 : 再生可能エネルギー関連産業でビジネスに取り組まれる企業団体の皆様に情報発信及び商談・交流の場を提供することにより、産学官の取引拡大を支援するとともに、「再生可能エネルギー先駆けの地」の実現に向けた強い意思を国内外に発信する(HP「開催概要」より)。
5. 相談員 : 水野博文、伊藤正則、鈴木俊二、松枝浩一郎(日本弁理士会東北支部会員)
6. 内容

本フェアは、再生可能エネルギー技術に関連する企業等が出展する展示会であり、毎年福島県郡山市で開催されています。再生可能エネルギーは、A太陽光・太陽熱、B水素・燃料電池・蓄電池、Cバイオマス、D水力・地中熱・未利用熱、E風力などの技術分野ごとに分類され、各技術分野ごとにエリアが割り当てられ、関心のある技術分野の展示を効率よく見学することができます。県内や東北地方の企業に限らず海外企業の出展や、大学、研究機関、支援機関、金融機関などさまざまな関連団体が参加しており、初日の朝から多くの来場者で賑わっており、活発なビジネス活動が展開されているようでした。

日本弁理士会東北支部が本フェアに出展するのは、本年が2年ぶり2回目で、前回と同じく知財無料相談会を実施しました。また、ブースでは、弁理士の紹介や弁理士会の支援活動を紹介するパンフレットなどを配布し、ブース前を通りがかった来場者が手に取っていく姿も見受けられました。フェア開催期間中、4名の弁理士で相談対応を順に担当しましたが、相談件数は、2日間を通じて1件でした。今回は、福島県発明協会を含め各種相談を受け付ける他の支援機関が集まる出展エリアと離れたエリアでの出展となり、それが影響したかもしれません。

さまざまな事業者が集う展示会は、知的財産権への関心を喚起させ、弁理士の認知度を向上させる効率的な機会であり、今後も継続的に活動することが必要なのではないかと思われま



文責：日本弁理士会東北支部 松枝浩一郎